

シラフルオフェン水和剤 MR. ジョーカー水和剤	取扱メーカー： バイエル 原体メーカー： バイエル
成分： シラフルオフェン……………20.0%	性状： 類白色水和性粉末45 μ m以下 毒性： 普通物 消防法： ——

【品目特性】……………

- なし・かき・かんきつ・りんごのカメムシ類に長期間残効を示す。
- 果樹のシンクイムシ類，ハマキムシ類，ホソガ類，アザミウマ類に対しても優れた効果を示す。
- 茶のチャノミドリヒメヨコバイ，チャノキイロアザミウマ，その他チョウ目害虫に対し優れた効果を示す。
- 主に接触毒により作用するが，食毒作用もある。
- カメムシ目，バッタ目，チョウ目，コウチュウ目などに幅広い殺虫スペクトラムを示すが，ダニ類に対してはほとんど活性がない。
- 若齢幼虫に対し，より高い活性を示すが，中・老齢幼虫にも有効である。
- 殺卵効果はないが，優れた残効性によりふ化幼虫を防除できる。
- 気温の高低にかかわらず安定した効果を示す。
- ボルドー液と混用できる。
- 天敵のケナガカブリダニやクモ類に対して影響が少ない。
- 有効成分の特性は参考資料の「有効成分特性一覧表」を参照。

【使用上のポイント】……………

- 茶のヨコバイ，アザミウマに対しては二番茶，三番茶の生育期又は秋芽生育期をねらって散布する。

【薬効・薬害等の注意】……………

- 散布量は作物の生育段階，栽培形態及び散布方法により調節する。
- マンネブ剤との混用はかきに薬害を生じることがあるのでさける。
- 適用作物（なし）の薬害などの注意は「薬害注意事項解説」を参照。
- 適用外作物（あぶらな科作物，レタス）への薬害などの注意は「薬害注意事項解説」を参照。

【安全対策上の注意】……………

- 蚕に対して影響があるので，周辺の桑葉にはかからないようにする。
- 共通注意事項7. ミツバチに対する注意事項を参照。
- 甲殻類に影響を及ぼすおそれがあるので，使用時は注意。
- 散布器具・容器の洗浄水及び空容器は適切に処理する。



【適用と使用法】

作物名	適用害虫名	希釈倍数	10 a 当り 使用液量	使用時期 (収穫前)	本剤及びシラフルオフェン を含む農薬の総使用回数	使用方法
りんご	シンクイムシ類 ハマキムシ類 キンモンホソガ ギンモンハモグリガ カメムシ類	2000倍	200～ 700 ℓ	14日前まで	2回以内	散布
かんきつ	カメムシ類 チャノキイロアザミウマ					
かき	カキノヘタムシガ カメムシ類 チャノキイロアザミウマ カキクダアザミウマ					
なし	シンクイムシ類 ハマキムシ類 カメムシ類					
もも	モモハモグリガ カメムシ類			前日まで		
茶	チャノコカクモンハマキ チャハマキ チャノホソガ ヨモギエダシヤク チャノミドリヒメヨコバイ チャノキイロアザミウマ		200～ 400 ℓ	摘採 21日前まで		